

# 社会・労働関係文献月録

・分類表は1991年5月号に掲載されています。  
 ・収録誌の一覧は1991年6月号に掲載されています。  
 ・掲載文献は研究所で閲覧・複写できます。所内での複写は有料です。なお、文書等（葉書・FAX・e-mail可）で申込みの場合は、複写料および送料実費で申し受けます。定期購読者に限り、複写料は割引いたします。

法政大学大原社会問題研究所編 ☎ 042-783-2305  
 東京都町田市相原町4342 (〒194-0298) F. 042-783-2311

2004.4.1～2004.4.30受け入れ分

(文献資料名)	(著者名) *印単行書の場合→	(収録誌名) (発行所)	(巻-号)(月号) (判・頁)(冊/年)
<b>I 理論・一般</b>			
<b>0. 総記</b>			
時節遅れの「労働貴族」論	竹内真一	経済	96 03.9
日本資本主義分析によせて(下)	日野星一	社会主義	489 03.8
「ゴータ綱領批判」の読み方	不破哲三	前衛	768 03.10
*インターネットは民主主義の敵か	キャス・サンスティーン著	石川幸憲訳 毎日新聞社	B6.223 03.11
*自由のためのメカニズム	デヴィッド・フリードマン	森村進他訳 勁草書房	A5.293 03.11
*翔びたて女性たち	吉川春子	ケイ・アイ・メディア	B6.255 03.11
*Q&Aわかりやすい女性の人權	渡辺智子	明石書店	A5.180 03.9
*ドメスティック・バイオレンス	鈴木隆文, 麻鳥澄江	教育史料出版会	A5.343 03.9
*全地方議会女性議員の現状	市川房枝記念会出版部編	市川房枝記念会	B5.129 03.9
*岩波講座環境経済・政策学 第3巻	植田和弘, 森田恒幸編	岩波書店	A5.228 03.3
*岩波講座環境経済・政策学 第5巻	寺西俊一, 細田衛士編	岩波書店	A5.225 03.2
*差別と環境問題の社会学	桜井厚, 好井裕明編	新曜社	B6.220 03.3
*水俣学講義	原田正純編著	日本評論社	A5.336 04.3
*21世紀アメリカの社会問題	熊谷文枝	勁草書房	A5.301 04.3
*埋火	生活経済政策研究所編	御茶の水書房	A5.394 04.3
*市民政治再考	高島通敏	岩波書店	A5.54 04.3
*社会情報学ハンドブック	吉見俊哉, 花田達朗編著	東京大学出版会	A5.296 04.3
*日本版General Social Surveys JGSS-2002 基礎集計表・コードブック	大阪商業大学比較地域研究所編	東京大学社会科学研究所	A4.249 04.3
*日本版General Social Surveys 研究論文集[3]JGSSで見た日本人の意識と行動	大阪商業大学比較地域研究所編	東京大学社会科学研究所	A4.289 04.3
*人権年鑑 2003		部落解放・人権研究所	A5.325 04.3
<b>1. 労働論</b>			
*現場発スローな働き方と出会う	田中夏子, 杉村和美	岩波書店	B6.179 04.3
<b>2. 労使(資)関係論</b>			
21世紀: 企業経営の変化と労使関係	社会経済生産性本部	労使の焦点	245 03.8
*人事・雇用システムの転換と労使関係	労務理論学会編	晃洋書房	A5.241 04.2
*日本の労働調査	山本 潔	東京大学出版会	A5.592 04.3
<b>4. 経営労務論</b>			
日本のコーポレート・ガバナンス(シンポジウム)	(出見世信之 田中恒夫 中村一彦 片岡泰彦)	Research papers(大東文化大)	40 03.3

Future models of Japanese human resource management

	Michio Amagasa/Masao Hanaoka	Research papers (大東文化大)	40	97.3
労働者経営参加の機能論的展開	大谷真忠	大分大学経済論集	55-2	03.7
管理とは何か	三戸 公	専修経営研究年報	27	03.3
* 21世紀型人事管理を考える	岡隆一郎述	高齢・障害者雇用支援機構	A5.45	04.3
<b>5. 社会政策, 社会福祉, 社会保障論</b>				
特集 「改革」をのりこえる社会福祉の将来像と全体像		総合社会福祉研究	22	03.3
障害者の地域支援システムを考える (井上泰司)	社会福祉「構造改革」はどこまで来たか (真田 是) 他			
老人ホーム運営上の法的諸問題	山本直生	大学院研究年報 (中央大) 法学研究科篇	32	03.2
福祉圏域の規模と高齢者保健福祉	吉村 弘	山口経済学雑誌	51-4	03.5
二十一世紀の社会保障をとりまく環境と課題	高木郁朗	労働者福祉研究	53	03.7
* 現代社会福祉辞典	秋元美世他編	有斐閣	A5.549	03.11
* 社会福祉の思想と歴史	朴光 駿	ミネルヴァ書房	A5.318	04.2
* 新しい社会政策の構想	社会政策学会編	法律文化社	A5.254	04.3
<b>8. 職業教育・訓練論</b>				
e-ラーニングを活用した公共職業訓練の課題	福元 基, 坂口晴一郎	産業教育学研究	33-2	03.7
新しい医療職の発生と養成教育に関する問題点	宮本京子	産業教育学研究	33-2	03.7
「少年職業紹介ニ関スル件」依命通牒の学校生活から職業生活への移行支援における意義	三村隆男	産業教育学研究	33-2	03.7
中国における中等職業学校専門教科担当教師の養成	黄学哲, 朴英淑	産業教育学研究	33-2	03.7
ドイツ・ザクセン州における初等教育段階での技術教科「技術工作」用教科書の内容構成に関する一考察	鈴木隆司	産業教育学研究	33-2	03.7
特集 ハイブリッド雇用下の人材育成		産業訓練	575	03.8
連合の「パート・有期契約労働法」と均等待遇の判断基準・職場の実践方法 (吉宮聰悟) ハイブリッド職場の人材マネジメント (阪口 武) パートが正社員との賃金格差に納得しない理由とは何か (篠崎武久)				
自律的なプロフェッショナル人材の育成	岡 良廣	能力開発21	24-8	03.8

**II 労働問題**

<b>10. 総 記</b>				
生涯労働の実現へ、変わる労働環境と労働者意識の中で	神宮司章生	改革者	518	03.9
男女共同参画社会をめざして	水島広子	全日通	95	03.2
労働者現場事情	藤懸義久	労働リーダー	27-8	03.8
* エクセレントでみつけた生きがい働きがい	西村一郎	コープ出版	B6.199	03.10
* 生涯現役の危機	杉澤秀博, 柴田博編著	ワールドプランニング	A5.143	03.10
<b>11. 雇用・労働市場</b>				
構造的失業の再検討	玄田有史, 近藤絢子	ESRI Discussion Paper Series	53	03.8
Surviving in a changing labor market	Dai Qiujuan	Research papers (大東文化大)	34	03.3
増加する若年非正社員雇用者の実態とその問題点	小杉礼子	関西経協	57-8	03.8
自殺と社会背景としての失業				
谷畑健生, 藤田利治, 尾崎米厚, 黒沢洋一, 箕輪眞澄, 畑栄一		厚生 の指標	50-8	03.8
ワークシェアリング論議はどこへいったのか	松村文人	社会主義	489	03.8
ワークシェアリングの意味と日本への導入の問題点	松浦美代司	大学院研究年報 (中央大) 商学研究科篇	32	03.2
過酷な新成果主義評価制度相次ぐ過労死・自死	川名法男	地域と労働運動	34	03.8
* 国際化する日本の労働市場	依光正哲編著	東洋経済新報社	A5.248	03.12
* 労働市場の規制緩和を検証する				
G. エスピン-アンデルセン, マリーノ・レジニ編 伍賀一道他訳		青木書店	A5.418	04.2

12. 労働条件					
*首都圏私大の賃金及び教育・研究・労働条件	2003年度	東京地区私立大学教職員組合連合	A4.320	04.3	
13. 賃金問題					
男女間の賃金格差解消のための賃金管理及び雇用管理改善方針に係るガイドライン					
	厚生労働省	労務研究	662	03.8	
*賃金デフレ	山田 久	筑摩書房	B40.222	03.11	
*賃金統計活用の実例 改訂2版	厚生労働省労働基準局賃金時間課編者	労働調査会	A5.264	03.2	
14. 労働時間					
2002年度年間実労働時間実態調査結果	電機連合	調査時報(電機連合)	341	03.7	
特集 時間外労働をめぐる問題		労働調査	412	03.8	
サービス残業(不払い残業)撲滅に向けた「労働時間管理点検調査」および「撲滅の取組みに関する調査」結果報告(谷津正信) 総合建設業ホワイトカラー労働者の労働時間の実態(山崎達彦) 教職員の時間外勤務を考える(染谷幹夫) 今こそ、割引労働としての残業をなくすべき(久本憲夫) 他					
15. パート・派遣・家内労働					
派遣労働導入を許さない労働組合の闘いを	村田浩治	医療労働	453	03.7	
特集 パート労働の国際比較 4		大原社会問題研究所雑誌	537	03.8	
フランスのパートタイム労働(鈴木宏昌) 男女均等待遇原則の主流化に向かってEU労働法制の展開(下)(柴山恵美子)					
人材派遣業に携わって	喜元和子	関西経協	57-8	03.8	
改正労働者派遣法と運用上の留意	安西 愈	月刊人材ビジネス	205	03.8	
製造派遣解禁後は派遣と請負をあわせて有効利用	月刊人材ビジネス編集部	月刊人材ビジネス	205	03.8	
生産業務への派遣解禁と人材ビジネス	佐藤博樹	月刊人材ビジネス	206	03.9	
派遣スタッフは継続した仕事の確保を望んでいる	月刊人材ビジネス編集部	月刊人材ビジネス	206	03.9	
私が「派遣」で働く理由(座談会)					
(浜村由美 宮本雅代 尾仲由美 桑原直美 沼田章裕 聞き手:浦登記)		月刊人材ビジネス	206	03.9	
不安定雇用の増大と統一ルールづくり(シンポジウム)	清山 玲	婦人通信	542	03.9	
パートタイム労働者の働き方意識	神村俊一	労務研究	662	03.8	
*雇う前/働く前に読むパートタイムQ&A	山下次郎	文芸社	B6.123	03.10	
16. 女性労働					
「女子保護規定」撤廃四年、「平等」の現実を問う	平兼悦子	前衛	767	03.9	
*定年退職と女性	女性労働問題研究会編	ドメス出版	B6.260	04.2	
17. 中高年労働					
特集 産業別(貿易・商社、金型製造、鋳物)にみる高齢化対策ガイドライン	エルダー		25-8	03.8	
いま、求められる熟練技能とIT技術の融合した職場づくり(社団法人日本金型工業会) 鋳鉄鋳物製造業の高齢者雇用の手引き(社団法人日本鋳物工業会) 貿易・商社業界における高齢者雇用の推進に関する提言(社団法人日本貿易会)					
アジア諸国における高齢者就業の実情と諸対策					
白木三秀, 張紀潯, 呉学殊, 謝雅梅, 青木章之介	エルダー		25-9	03.9	
今後の高齢者雇用対策について(報告)					
厚生労働省・今後の高齢者雇用対策に関する研究会	エルダー		25-9	03.9	
18. 障害者労働					
特集 障害者と社会・労働参加-支援費制度めぐって	いのちとくらし研究所報		4	03.8	
「共同作業所づくり運動」の過去・現在・未来(菅井 真) 非常利・協同と共同作業所づくり運動(座談会)(立岡暁 斎藤なを子 長瀬文雄 岩本鉄矢 坂根利幸 司会:石塚秀雄)					
相談員の役割と期待される姿	石渡和実	ノーマライゼーション	23-7	03.7	
19. 外国人労働					
*国際労働移動のマクロ経済学分析	島田 章	五紘舎	A5.213	03.11	

20. 技術革新				
今後の経済・雇用を支える新産業シーズを探る		かけはし	17-9	03.9
21. 労災, 職業病, 健康問題				
Dioxin	Kyle Steenland/James Deddens	Industrial Health	41-3	03.7
Dioxins in occupational and environmental health				
Yasutaka Ogawa/Norihiko Kohyama/Shunichi Araki		Industrial Health	41-3	03.7
Exposure evaluation of dioxins in municipal waste incinerator workers				
Shinji Kumagai/Shigeki Koda/Hajime Oda		Industrial Health	41-3	03.7
Health survey on workers and residents near the municipal waste and industrial waste incinerators in Korea				
Jong-han Leem/Yun-cul Hong/Kwan-hee Lee/Ho-jang Kwon/Yoon-seok Chang/Jae-yeon Jang		Industrial Health	41-3	03.7
Immunotoxicological effects of Agent Orange exposure to the Vietnam war Korean veterans				
Hyoung-ah Kim/Eun-mi Kim/Yeong-Chul Park/Ji-yeon Yu/Seung-kwon Hong/Seong-hoon Jeon/Kui-lea Park/Sook-jin Hur/Yong Heo		Industrial Health	41-3	03.7
Impact of agent orange exposure among Korean Vietnam veterans				
Joung-soon Kim/Hyun-sul Lim/Sung-il Cho/Hae-Kwan Cheong/Min-kyung Lim		Industrial Health	41-3	03.7
Short-and long-term morbidity and mortality in the population exposed to dioxin after the "Seveso accident"				
Angela Cecilia Pesatori/Dario Consonni/Silvia Bachetti/Carlo Zocchetti/Matteo Bonzini/Andrea Baccarelli/Pier Alberto Bertazzi		Industrial Health	41-3	03.7
表示・標識 分かりやすい伝え方	高橋 誠	安全衛生のひろば	44-9	03.9
労働安全衛生をめぐる状況		安全センター情報	300	03.8
行政方針・評価を明確にし迫力ある労働基準行政を	古谷杉郎	安全センター情報	301	03.9
「高次脳機能障害」をもちこんだ精神障害の新基準		関西労災職業病	330	03.8
快適職場指針の項目及び快適化事例				
中央労働災害防止協会・中央快適職場推進センター		月刊ろうさい	54-8	03.8
三重県における感染症発生动向調査事業への新たな取り組み				
大熊和行, 寺本佳宏, 福田美和, 中山治, 田畑好基		厚生指針	50-8	03.8
特集 健康をつくる!健康を守る!		厚生労働	58-7	03.7
健康増進法の目指すもの(健康局総務課生活習慣病対策室) 職場における健康管理(労働基準局安全衛生部労働衛生課) 健康危機管理(大臣官房厚生科学課健康危機管理対策室) 介護予防の新しい動き(老健局計画課)「心の健康づくり」について(社会・援護局障害保健福祉部精神保健福祉課) 健康の今日的意味(座談会)(南砂 高久史磨 高田昂 司会:上田博三)				
特集 生きがいの見つけ方		厚生労働	58-8	03.8
若者の就職支援(政策統括官付労働政策担当参事官室 職業安定局業務指導課 職業能力開発局育成支援課職業意識啓発推進室 職業能力開発局育成支援課キャリア形成支援室) 高齢者の生きがいと健康づくり施策の現状と課題(老健局振興課) シルバー人材センターについて(職業安定局高齢・障害者雇用対策部高齢者雇用対策課) 他様々な機会を捉え健康情報を提供し自分の健康は自分で守る意識付けを				
富士電機(株)東京システム製作所		労働安全衛生広報	826	03.9.1
労働者の疲労蓄積度自己診断チェックリストの公開について	労働衛生課	労働基準	55-8	03.8
特集 第10次労働災害防止計画への期待 1		労働の科学	58-9	03.9
安全衛生担当責任者として10次防に期待するもの(山室栄三)				
特集 第10次労働災害防止計画への期待 2		労働の科学	58-9	03.9
10次防をめぐって(重松開三郎)				
特集 第10次労働災害防止計画への期待 3		労働の科学	58-9	03.9
労働者の参画を促進する労働災害防止施策が必要(西野方庸)				
特集 第10次労働災害防止計画への期待 4		労働の科学	58-9	03.9

労働衛生コンサルタントから見た10次防の視点 (下川 強)			
特集 第10次労働災害防止計画への期待 5	労働の科学		58-9 03.9
産業医活動から見た10次防への期待 (長井聡里)			
<b>22. 労働者意識</b>			
組合員の組合組織に関する意識調査結果	電機連合	調査時報 (電機連合)	340 03.7
<b>23. 生活問題</b>			
日本の勤労者 (1) (シンポジウム)			
(小越洋之助 大木寿 唐鎌直義 猿田正機 司会:羽田野修一) 経済			97 03.10

### III 労働運動

<b>30. 総記</b>			
養老乃瀧解雇撤回闘争	長谷川恒夫	科学的社会主義	65 03.9
個別労働紛争をめぐる判例の動向 (下)	毛塚勝利	関西経協	57-8 03.8
弁護士は労働事件にどう立ち向かうか (講演)	佐藤博文	団報 (自由法曹団)	169 03.8
<b>31. 労働組合・運動論</b>			
今、何が起きているか	小出幸男	IMFJC	272 03.夏
社会的運動の接点を広く持ち時代にふさわしい運動の創造を	あけぼの編集部	あけぼの	21-1 03.7/8
特集 労働者の手で平和を守る		月刊労働組合	457 03.8
イラクの民衆は日本の派兵を望まない (ジャミーラ高橋) 希望を求めてもう一度平和運動を (福山真劫) 有事法制の空洞化は可能だ (新倉裕史) 行きすぎた反北朝鮮宣伝がアジアの平和を破壊する (津田公男) 日本の経済支配とアジア労働者の闘い (菅原修一)			
U.バックの「市民労働」	伊藤美登里	社会運動	282 03.9
企業・産別を越えた運動をいかに作るか (座談会)			
(安藤利夫 吉田進 善明建一 司会:細井雅夫) 社会主義			
活発な活動と元気な組織を	横山征次	全日通	95 03.2
これからの組合活動と職場リーダーへの期待	鈴木政彦	全日通	95 03.2
変えられるか? 企業別組合主義	中野隆宣	賃金と社会保障	1350 03.7下旬
プリンス・日産労働運動 (下)	田嶋知来	労働運動研究	389 03.8
* 保育労働運動の探究	矢沢 進	あいゆうびい (子ども総合研究所) (発売:萌文社)	A5.273 02.4
<b>32. ナショナルセンター</b>			
連合の組織拡大実績と近畿地方ブロックの取り組み	佐川英美	労働リーダー	27-8 03.8
<b>34. 単産, 単組</b>			
UNI加盟組織トップに聞く (8)	長村 中	UNIニュース	49 03.7
従来のやり方にとらわれず行動を 国際連帯で“変化”へ果敢に挑戦	秋場美奈子	あけぼの	21-1 03.7/8
スピード感持ち諸課題を論議 具体的「成果」生み出す一年に	小林良一	あけぼの	21-1 03.7/8
特集 船員と平和の海		海員	55-8 03.8
千代田丸事件 最高裁判理は生きている (野崎咲夫) 2003連合平和行動 in 沖縄 沖縄戦の傷跡と米軍基地の町 (三尾 勝) 平和な海を求めて (座談会) (バヤニ・A. ジャボリ エドアルド・E. ガラン ビンセント・P. ヒゴイ ラウル・G. ゴー エルネスト・T. キハノ ウイリアム・C. マンバロ 平山誠一 司会:三宅隆)			
一〇余年続く地域の国労闘争団支援	福泉重厚	科学的社会主義	65 03.9
今こそ鉄建公団訴訟を軸に国鉄闘争再生へ	大谷常夫	科学的社会主義	65 03.9
国鉄闘争勝利のカギを探る	篠谷信敏	科学的社会主義	65 03.9
大胆に国鉄闘争の意義を広げよう	山崎秀一	科学的社会主義	65 03.9
JAMの有期雇用契約労働者の組織化対策		月刊JAM	47 03.7
特集 国鉄闘争		月刊交流センター	162 03.9
新宿で見つけた1047名闘争の底力 9月国労大会勝ち抜き, 11月労働者集会へ前進しよう (吉野元久) 神奈川, 国労5・27臨大闘争弾圧を許さない会結成 国労5・27臨大闘争弾圧を許さない東京東部の会を結成			

国労運動の活性化と発展を希求して（座談会）

（柴田互 西澤直樹 因泥一 岩元孝信 山内隆寛 尾崎公則 司会：安富盛幸 記録：鈴木郁夫）	国労文化	474	03.8
全日通の当面する諸課題について	岡野信一郎	全日通	95 03.2
国労書記に対する退職強要	川副詔三	地域と労働運動	34 03.8
金ではかえない価値観を復権し、日本救国統一戦線をつくり、勝負！（インタビュー）			
（光永 勇 インタビュアー：薩川隆一）	労働リーダー		27-8 03.8
既成概念を打破し、キラリと光る運動の展開を！（インタビュー）			
（森正 暁 インタビュアー：薩川隆一）	労働リーダー		27-8 03.8

### 36. 賃金闘争（含 生活改善闘争）

賃金闘争の現状と課題	金田 豊	国公労調査時報	489 03.9
二〇〇三年春闘の総括を検証する	善明建一	社会主義	489 03.8
ILO勧告と国鉄闘争（続）	神宮義秋	社会主義	489 03.8
〇三春闘の闘争＝組織戦術の解明をめぐって	藻岩夏彦	新世紀	206 03.9
特集 2003年 春闘総括 定期昇給制度をどうするか		賃金事情	2437 03.8/20
標準労働者像を確立したうえで公正な昇給システムの再整備を（山口登守）賃金制度の設計は「時間軸中心」から「貢献度軸中心」へ（大津章敬）自動昇給・評価昇給・定期昇格（串田武則）			

### 38. 合理化・雇用対策

* リストラ・倒産対応マニュアル	全日本金属情報機器労働組合編	学習の友社	A5.162 04.1
------------------	----------------	-------	-------------

### 39. 権利闘争

特集 討論集会 JR採用差別事件最高裁の焦点		季刊労働者の権利	250 03Summer
JR採用差別事件・東京高裁判決の批判的検討（講演）（萬井隆令）JR不採用事件と青山会事件に見る裁判闘争の前進と課題（報告）（小島周一）判例理論の到達点と発展の契機（報告）（上条貞夫）全動労採用差別事件東京高裁判決の問題点（報告）（加藤健次）国労採用差別東京高裁判決の問題点（報告）（福田 護）			
裁量労働制と過労死	川人 博	季刊労働者の権利	250 03Summer
定年延長と賃金切下げ	菅 俊治	季刊労働者の権利	250 03Summer
東洋印刷事件逆転勝利判決の要因	辻 俊介	季刊労働者の権利	250 03Summer
日本ヒルトン事件が提起する有期雇用労働者の権利問題	井上幸夫、小林譲二	季刊労働者の権利	250 03Summer
配転と賃金切下げ	千葉見平	季刊労働者の権利	250 03Summer
派遣労働者の権利、K君の場合	平野幹雄	人権21	165 03.8

### 40. 政策制度闘争

* 転換期をむかえた地方バス	橋本勲他編	全運輸労働組合	A4.112 04.2
----------------	-------	---------	-------------

### 42. 労働者福祉運動

あらためて考える労働者協同組合制度	岡安喜三郎	協同の発見	133 03.8
協同労働とアソシエーション	田畑 稔	協同の発見	133 03.8
排除を許さないために（1） グレグ・マクラウド 訳：中川雄一郎		協同の発見	133 03.8
ボランティア、協同労働、そしてCC共済（2）	黒川俊雄	協同の発見	133 03.8
ピアヘルパー活動に優先枠を設け就労支援を望む	西脇忠之	月刊人権問題	321 03.9
世界規模での協同組合論議へ	清水亮子	社会運動	281 03.8
* 労働者福祉の新しい展開をめざして	高木郁朗	全労済協会	B5.99 04.3

### 43. 労働組合と政治

組織の総力あげ“政権交代”を安心して暮らせる社会構築へ（座談会）			
（小野寺良 伊藤忠治 田嶋 要）	あけぼの		21-1 03.7/8
日本共産党綱領改定案を読む	津和 崇	科学的社会主義	65 03.9

## IV 経営労務

### 50. 総記

* 中堅・中小企業のためのコンピテンシー入門	下山明央	同友館	A5.236 03.11
------------------------	------	-----	--------------

*コスト削減で元気が出るか	青木 淳	ダイヤモンド社	B6.175	03.12
*従業員持株制度の実証的研究	園田光司	勁草書房	A5.306	04.3
<b>51. 人事・労務管理</b>				
特集 進化するコーポレート・ガバナンス		経済Trend	51-8	03.8
コーポレート・ガバナンスのあり方について(石嶺幸男) 米企業改革法(Sarbanes-oxley act)とわが国企業の対応(太田 洋) 企業の自主性を尊重する欧州型コーポレート・ガバナンス改革(関 孝哉)				
コンピテンシーの現在と可能性	阿世賀陽一	月刊経営労務	583	03.9
労務管理なくして経営なし(品質管理は人質管理)	金澤明望	月刊経営労務	583	03.9
特集 これからの経営組織開発		月刊人事労務	175	03.9
経営組織ビッグバンの実体(久保 誠) 役割の拡大による組織開発のあり方(久保淳志)				
「右腕」従業員の存在と中小企業経営	脇坂 明	国民生活金融公庫調査月報(Monthly Report)	509	03.9
雇用区分の多元化と人事管理の課題	佐藤博樹	産業訓練	575	03.8
社員教育担当者に望む視点、ランダムに幾つか	川喜多喬	産業訓練	575	03.8
こんな時代の優秀人材の採用の仕方と定着化	楢木 望	旬刊労働実務	1403	03&1/11
特集 合併人事、成功の秘訣		人材教育	177	03.9
世界的潮流と乖離した日本の「合併人事」(三神万里子) 合併に当たって、人事部は何をすべきか(三神万里子) 人事・組織統合戦略の実際(西口尚宏) M&Aにおける人事部の使命(太田信之 佐藤 司)				
顧客志向の組織には実力主義が不可欠に	菊谷寛之	先見労務管理	1231	03.8.25
横河電機グループの人事業務管理	相澤動太	日労研資料	1276	03.8
あなたの事業所にも企業内福祉推進者を!	永島正二郎、川路健一	労働かながわ	611	03.7/8
プロフェッショナルクラブを必要としている背景	所 和男	労働リーダー	27-8	03.8
*パワーハラスメントの衝撃	金子雅臣	都政新報社	B6.254	03.10
*事例で学ぶ労務管理のコンプライアンス	伊勢丹労働組合編	経林書房	A5.185	03.12
*「解雇・退職」対策ガイド 増補改訂版	金子雅臣、龍井葉二共	緑風出版	A5.262	04.2
*「企業の採用と教育に関するアンケート調査」結果		経済同友会	A4.32	04.2
*独立行政法人のための労務管理ハンドブック	中町 誠ほか	三協法規出版	A5.264	04.2
*成果主義人事・賃金 7		社会経済生産性本部生産性労働情報センター	B5.128	04.3
<b>52. 賃金管理</b>				
「賃金台帳」作成の重要性について	全国社会保険労務士会連合会	月刊社会保険労務士	39-8	03.8
2003年 中高年層の処遇と活用に関する調査(1)	武内崇夫	賃金実務	931	03&1/15
<b>54. 定年制、退職金、企業年金</b>				
特集 年金改革をとりまく状況		企業年金	288	03.8
連合会が厚生年金基金の資産運用に関する制度等改善要望を厚生労働省に提出(報告) 議案の四割に反対の意思表示(報告)				
どうしたら企業年金の受給権は守れるか	河村健吉	経済	96	03.9
勤労者が直面する企業年金・退職金問題(3)	三村 聡、田中章二	月刊ろうきん	519	03.8
民間338社回答 退職給付プランの実態と課題		旬刊福利厚生	1810	03.8.18
<b>56. 教育・訓練</b>				
本誌調査 海外・国内留学制度実態調査		企業と人材	820	03.8.5/20
新入社員教育のあり方とその効果的な進め方	白沢節子	企業と人材	821	03.9.5
職業知識と聴く技術がキャリアカウンセラーの必要条件(インタビュー)				
	(小澤佳代子 聞き手:浦 登記)	月刊人材ビジネス	205	03.8
製造の人材ビジネスはわれらの手で				
(パネラー: 芦川 久 山本善久 清水竜一 コーディネーター: 佐藤博樹)		月刊人材ビジネス	205	03.8
特集 OJTの定着と支援のあり方		産業訓練	576	03.9
OJTの定着とその支援策(佐藤鐵夫) 部下が育つOJTマネジメント(石月言成)				
企業発展のための人材育成	加藤敬子、山下 堯	労働かながわ	611	03.7/8

*新しい時代の人材開発論	國部 茂	京都総合研究所 (発売:紫翠会出版)	A5.202	03.10
<hr/>				
59. 国際経営労務				
*海外・人づくりハンドブック	木村大樹編著	海外職業訓練協会	A5.138	04.2

## V 労働政策

<hr/>				
60. 総記				
特集 司法制度改革シンポジウム 司法制度改革を国民の手に	月刊全労連		80	03.9
司法改革の立法作業と日弁連 (講演) (大川真郎) 国民の手で国民のための司法制度をつくる運動強化を (熊谷金道) 人間らしく生き働く社会の実現という立場から司法制度改革とともに考え運動を (堀口士郎) 年金制度「改革」のねらいと問題点 (報告) (公文昭夫)				
特集 司法制度改革シンポジウム シンポジストの報告&発言	月刊全労連		80	03.9
労働事件の課題と労働検討会の状況 (鴨田哲郎) 弁護士報酬の敗訴者負担制度について (齊藤園生) 国公労連の労働紛争処理に関する提言について (小田川義和)				
特集 市場化・民営化と自治体NPM	住民と自治		485	03.9
NPM行革と自治体の変貌 (安達智則) 正規職員を減らし行政パートナーで (桜井はる子) 国家公務員採用試験について語る (座談会)				
(小幡純子 鹿島 茂 川本隆史 吉野直行 司会:菊地敦子)	人事院月報		648	03.8
給与勧告についての説明	人事院	人事院月報	649	03.9
*余暇事業の戦後史	瀬沼克彰	学文社	B6.267	03.11
<hr/>				
65. 社会保障, 社会福祉				
2015年の高齢者ケア	石川治江, 中村秀一, 備酒伸彦, 齊藤 学	介護保険情報	45	03.8
特集 防ごう! 高齢者虐待		介護保険情報	46	03.9
高齢者虐待の実態と対応策 高齢者虐待防止のために通報システムの整備を (インタビュー) (田中荘司)				
特集 ジェンダーから問う年金・税制		季刊女も男も	96	03.夏
「男性稼ぎ主」型からの脱却を (大沢真理) 個人化へ向かう「女性と年金」(木村陽子) 課税最低限と配偶者控除に代わるもの (遠藤みち) ジェンダーフリーの年金と税 (インタビュー) (袖井孝子 聞き手: 酒井はるみ 林 誠子)				
特集 福祉専門職の倫理と責務		月刊福祉	86-11	03.9
福祉専門職の行動の原点 (石井哲夫) 福祉専門職に求められる倫理とその明文化 (小山 隆) 倫理的な組織に向けての内部改革 (鈴木守幸) 専門職の倫理教育を考える (羽地 亮)				
看護師の労働環境	松丸重子	月刊いのちと健康	442	03.8
公的年金制度	内閣府政府広報室	月刊世論調査	35-8	03.8
医薬分業による薬剤給付の現状	江崎 桂	健康保険	57-8	03.8
介護保険制度見直しの課題 (1)	和田 勝	健康保険	57-8	03.8
健康増進事業実施者の動向と今後の課題 (インタビュー)				
対馬忠明, 飯島美世子, 高野裕治, 田中一哉		健康保険	57-8	03.8
健保連の医薬分業調査をこう見る! (インタビュー)	漆畑 稔	健康保険	57-8	03.8
医療的ケアに関する介護福祉士の対処の現状と意識	林 信治	厚生指標	50-8	03.8
地域住民の健康関連QOLに関する満足度の測定	中嶋和夫, 香川幸次郎, 朴 千萬	厚生指標	50-8	03.8
特集 社会保障システムの再構築-社会のあり方		社会主義	490	03.9
「車いすで歩けるまちづくり」三〇年の報告 (小竹金次) 女性をとりまく環境の変化と年金制度 (高橋広子) 少子化対策と女性の働き方, 生き方 (秋川恵里) フリーターという働き方と未来 (中村ひろ子) 社会保障制度の財政問題を考える (仲田信雄)				
経済財政運営と構造改革に関する基本方針2003		社会保険	638	03.9
国民皆保険制度の戦略的運営の研究 (6)	泉田信行	社会保険旬報	2179	03.8.1
包括支払い方式導入と患者安全のための適正看護人員とは	阿部俊子	社会保険旬報	2179	03.8.1
間違いやすい薬について	我妻恭行	社会保険旬報	2179	03.8.1



予防医療の保険適用に関する一考察－禁煙補助療法の日米比較（上）	川渕孝一, 仙田純子, 山田里奈	社会保険旬報	2179	03.8.1
安全な医薬品と安全な医療機器にむけて	河野龍太郎	社会保険旬報	2180	03.8.11
医療の質・安全とTQM	棟近雅彦	社会保険旬報	2180	03.8.11
予防医療の保険適用に関する一考察－禁煙補助療法の日米比較（下）	川渕孝一, 仙田純子, 山田里奈	社会保険旬報	2180	03.8.11
国民皆保険制度の戦略的運営の研究（7）	橋本英樹	社会保険旬報	2181	03.8.21
就業と生活形態の多様化についてオランダモデルの示唆するもの（上）	佐藤仁之	社会保険旬報	2182	03.9.1
04年 年金「改革」の正体	公文昭夫	社会保障	390	03.秋
国民年金制度の現状	久昌以明	社会保障	390	03.秋
社会保障と年金「改革」	唐鎌直義	社会保障	390	03.秋
特集 社会保障読本2003年版 医療・年金・介護等の現状と将来	週刊社会保障		2246	03.11.18
社会保障の課題と方向（厚生労働省政策統括官付社会保障担当参事官室）年金財政の課題と将来（若杉敬明）				
高齢者保健福祉の現状と課題（厚生労働省老健局総務課）介護保険の運営状況と課題（厚生労働省老健局介護保険課）				
痴呆性高齢者グループホームの現状と課題（厚生労働省老健局計画課）介護サービス事業等の現状と課題（厚生労働省老健局振興課）他				
少子化社会対策基本法について（上）	高藤 昭	週刊社会保障	2247	03.8.25
年金と雇用の真の統合にむけて	清家 篤	週刊社会保障	2245	03.8.4
少子化社会対策基本法について（下）	高藤 昭	週刊社会保障	2248	03.9.1
社会福祉の市場化と介護保険	日下部雅喜	住民と自治	485	03.9
高齢者の生活と人権問題	八木 明	人権21	165	03.8
年金制度の現状と政策的課題（上）	河野正輝	進歩と改革	620	03.8
年金制度の現状と政策的課題（下）	河野正輝	進歩と改革	621	03.9
特集 安心の政府を求めて	生活経済政策		496	03.9
子育て支援の新たな展開（森田明美）生活の安全・安定・安心を求めて（正村公宏）障害者支援政策の展開と積極的社会政策（大谷 強）介護保険3年の検証と今後の課題（池田省三）				
社会福祉法人による減免にみる介護保険制度の課題	木下武徳	総合社会福祉研究	22	03.3
知的障害者が入所施設を出て、グループホームで暮らすために必要な人的支援	隅広静子	総合社会福祉研究	22	03.3
施設に住む要介護高齢者のQOLの新しい視座を目指して	井上詩織	大学院研究年報（中央大）総合政策研究科篇	6	03.2
秋田で生活保護裁判をたたかって（講演）	沼田敏明	団報（自由法曹団）	169	03.8
勝利した生活保護「加藤人権裁判」（講演）	鈴木正和	団報（自由法曹団）	169	03.8
セーフティネットの意味	ねんきん		44-9	03.9
04年年金改革に向けて	伏見恵文, 有森美木, 白杵政治, 小野正昭, 石田成則 箕輪和夫, 久保知行, 清水信広, 金崎芳輔	年金と経済	22-2	03.8
特集 史上最悪の年金改悪を阻止しよう	労働運動		470	03.9
改悪めぐる対決点はいよいよ鮮明に（土屋五郎）なぜ「史上最悪」の改悪というのか（公文昭夫）困窮加深まる高齢者の暮らし（斎藤 一）「痛み」に耐える人々（唐鎌直義）高揚するフランスの年金闘争（福岡憲三）				
期待されるグループハウスの現状と課題	中村大蔵	労働者福祉研究	53	03.7
豊かな老後のために－リバース・モーゲージと成年後見	佐賀千恵美	労働者福祉研究	53	03.7
*女性のライフスタイルの変化等に対応した年金のあり方に関する検討会報告書				
〔厚生労働省〕女性のライフスタイルの変化に対応した年金のあり方に関する検討会			A4.167	01.12
*安心で充実した老後生活を支える新しい年金体系の構築	経済同友会		A4.15	04.2
*高齢者の在宅ケア 一歩を進めるために その8	法政大学大原社会問題研究所		A4.156	04.2
66. 労働法				
「多様選択可能型社会」へ向けて労働関連法制の整備進む	かけはし		17-8	03.8

「労働訴訟手続の特則の試案」について	井上幸夫	季刊労働者の権利	250	03Summer
労働法制改悪の狙いと問題点	坂本秀行	進路	366	03.9
改正労働基準法のポイントと新旧対照表	先見労務管理編集部	先見労務管理	1231	03.8.25
労働者によるディスクロージャーが保護するもの	長谷川聡	大学院研究年報(中央大) 法学研究科篇	32	03.2
改正法成立と今後の課題	岩出 誠	日労研資料	1276	03.8
解雇・有期労働契約法制の改正の意義と問題点	島田陽一	労働法律旬報	1556	03.7.下旬
*パートタイム労働法と雇用管理の実務 改訂	21世紀職業財団編	労働新聞社	A5.192	02.8
*要件事実労働法	大江 忠	第一法規	A5.560	03.10
*相談事例と判例に基づく労働紛争解決実務講義	河本 毅	日本法令	A5.783	04.1
*解雇法制	野川忍編著 社会経済生産性本部生産性労働情報センター		A5.107	04.4
*労働法制の課題	毛利勝利述	教育文化協会	A4.59	04.4
<b>67. 労働判例</b>				
シルバー人材センターは会員に対し契約上の健康保護義務を負っている	鴨田哲郎	労働法律旬報	1556	03.7.下旬
賃金改定交渉が行き詰まった場合に、信義則は賃金請求権を根拠づけることができるか?				
	矢野昌浩	労働法律旬報	1556	03.7.下旬
有期労働契約(下)	小宮文人	労働法律旬報	1556	03.7.下旬
炎天下に一日中踏切番 業務命令の違法性を認定	村瀬謙一	労働法律旬報	1555	03.7.上半
公務災害と国の責任	川本 清	労働法律旬報	1555	03.7.上半
女性労働判例回顧	菅野淑子	労働法律旬報	1555	03.7.上半
有期労働契約(上)	小宮文人	労働法律旬報	1555	03.7.上半
<b>68. 労働委員会</b>				
労働委員会の審査手続と救済命令の司法審査について(講苑)	渡辺 章	中央労働時報	1016	03.8
*香川県地方労働委員会年報 平成15年	香川県地方労働委員会事務局編	香川県地方労働委員会	A4.73	04.3
*山形県地方労働委員会年報 平成15年		山形県地方労働委員会事務局	A4.50	04.3

## VI 世界労働

<b>71. アジア</b>				
韓国社会主義運動概観	石河康国	科学的社会主義	65	03.9
中国における失業保険制度の形成過程	朱 珉	大学院研究年報(中央大) 経済学研究科篇	32	03.2
東南アジアの社会保障	菅谷広宣	賃金と社会保障	1350	03.7.下旬
*韓国労働法	宋 剛直	悠々社	A5.305	01.5
<b>73. ヨーロッパ</b>				
イギリスにおける社会的企業の台頭	塚本一郎	経営論集(明治大)	50-3	03.3
ヨーロッパ労働運動の「新しい波」	篠藤光行	進路	366	03.9
変化するオランダの労働組合運動: 批判的分析(2)				
ベン・ファルケンブルグ, ハリー・クーネン 訳: 『生活経済政策』編集部		生活経済政策	496	03.9
世界最大の労組・ヴェルディの素顔	宮前忠夫	総合社会福祉研究	22	03.3
「保険的福祉国家」の変容	深澤 敦	総合社会福祉研究	22	03.3
<b>75. 北アメリカ</b>				
特集 アメリカの現在		世界の労働	53-7	03.7
アメリカにおける年金制度改革(岡 伸一) 米ネオコンはどこへ向かうか(報告)(高橋 実) 北米の労働運動の組織化戦略をめぐる動向(報告)(熊谷謙一) 九・一一以降のアメリカ国民の意識と生活の変化(報告)(矢木孝幸) アメリカにおける公務労働をめぐる立法と日本の最高裁判所(高橋清一) アメリカの生活賃金運動(笹島芳雄)				
米国の地域型クレジット・ユニオンにみる個人向けに特化した「コミュニティ・バンキング」のあり方	由里宗之	調査季報(国民生活金融公庫)	66	03.8
カナダにおける労働組合のリニューアルに関する全国調査について	熊谷謙一	労働調査	412	03.8

## 79. ILO, 国際機関

ILO一〇〇号条約についての条約勧告適用専門家委員会報告(二〇〇三年)の意義

中島通子 労働法律旬報

1555 03.7.下旬

## Ⅶ 歴史

## 80. 総記

\* 協調会の研究 法政大学大原社会問題研究所編 梅田俊英, 高橋彦博, 横関 至 柏書房 A5.384 04.2

\* 自由民権と近代社会 新井勝紘編 吉川弘文館 A5.278 04.3

## 81. 労働史(日本)

戦時中の大日電線尼崎工場の中国人労働者について 塚崎昌之 歴史と神戸 239 03.8

\* 国際鉱山ヒストリー会議赤平大会報告書 第6回

国際鉱山ヒストリー会議赤平大会実行委員会編 赤平市総務部国際鉱山歴史会議事務局 A4.113 04.3

## 82. 労働史(外国・国際)

イギリス労働保護立法の展開 大森真紀 早稲田社会科学総合研究 4-1 03.7

## 85. 労働運動史(日本)

語りつがねばならぬこと(24) 塩沢美代子 安全センター情報 301 03.9

戦後労働運動と企業別組合 平坂春雄 兵庫県労働史研究会通信 22 03.8

\* 人物で綴る労働運動一世紀 山崎光平 労働問題研究会議(発売:同盟出版サービス) B5.809 03

\* ゆっくりできるのは死ぬ時かな?

大阪教職員組合・堺市教職員組合 堺・鈴木先生の過労死認定を求める裁判の支援共闘会議 A4.9 04

\* 平澤計七作品集 大和田茂, 藤田富士男編 論創社 A5.741 03.12

\* 自治労再生への挑戦 秋田孟編著 ウェイツ A5.263 03.9

## 87. 社会主義運動史(日本)

河上肇の直筆詩「同志野坂を迎へて」の公開について 早川征一郎 大原社会問題研究所雑誌 537 03.8

山川均・向坂逸郎外伝 今村 稔 科学的社会主義 65 03.9

大杉栄と一族の〈大変〉(講演) 大杉 豊 沓谷だより 19 02.8

大杉栄 伊藤野枝 没八〇年 さて私にできること 西村 修 沓谷だより 20 03.8

大杉栄が生きていたら 白井 茂 沓谷だより 20 03.8

大杉栄とエスベラント 平山忠敬 沓谷だより 20 03.8

大杉栄と哲学 鈴木 正 沓谷だより 20 03.8

大杉栄ら虐殺八〇年に寄せて 前田幸長 沓谷だより 20 03.8

「沓谷だより」に寄せて 村瀬博之 沓谷だより 20 03.8

祖父, 父母を通しての大杉さん, 野枝さん, そしてあの時代の人々 近藤千浪 沓谷だより 20 03.8

追悼 菅沼幸子さん 市原正恵 沓谷だより 20 03.8

響きあう大杉栄とB・ラッセル 大杉 豊 沓谷だより 20 03.8

向坂逸郎 その人と思想(十) 小島恒久 社会主義 490 03.9

\* 野坂参三予審訊問調書 井上敏夫 五月書房 B6.292 01.4

\* 草莽の臣 和田貞夫 明石書店 B6.394 04.3

## 88. 社会主義運動史(外国・国際)

\* 中国民主化運動の歩み 平野 正 汲古書院 B6.255 03.10

## 89. 諸社会運動史

食糧メーデーと天皇ブラカド事件(3・完) (松島松太郎 聞き手:吉田健二) 大原社会問題研究所雑誌 537 03.8

E. V. ニールの労働者生産協同組合論と消費者協同組合論 中川雄一郎 協同の発見 133 03.8

矯風会会頭矢島楯子より佐々多都子宛書簡 海保洋子 札幌の歴史 45 03.8

「らいてうの初心」を現在に生かす(シンポジウム) 米田佐代子 婦人通信 542 03.9

\* 秩父事件 若狭蔵之助 埼玉新聞社 A5.141 03.11

\* 家永三郎の残したものの引き継ぐもの 大田 堯, 尾山 宏, 永原慶二編 日本評論社 A5.240 03.12

* 巻原発・住民投票への軌跡	桑原正史, 桑原三恵	七つ森書館	B6.405	03.12
* 民衆法廷の思想	前田 朗	現代人文社	A5.286	03.12
* プロレタリア文学とその時代 増補新版	栗原幸夫	インパクト出版会	A5.347	04.1
* イラク派兵を問う 天木直人, 池田香代子, 野中広務, 田島泰彦	岩波書店		A5.61	04.2
* 輝く晩年	小泉修一	光陽出版社	B6.139	04.2
* 母と子でみる水爆ブラボー	豊崎博光, 安田和也	草の根出版会	A5.143	04.2
* 大衆運動 エリック・ホッファー著 高根正昭訳	紀伊国屋書店		B6.194	04.2
* 日露戦争100年 田中正造の人権・平和思想 梅田欽治	下町人間総合研究所		A5.47	04.2
* NPOがわかるQ&A 早瀬 昇, 松原 明	岩波書店		A5.65	04.3

## 桜井書店

東京都文京区本郷 1-5-17 三洋ビル <http://www.sakurai-shoten.com/>  
 TEL (03)5803-7353 FAX (03)5803-7356 価格税別表示

### 資本主義を見つけたのは誰か

重田澄男著 A5判・3500円

### サービス経済学説史 300年にわたる論争

ドゥロネ&ギャドレ著/渡辺雅男訳 46判・2800円

### グローバル時代の貿易と投資

板垣文夫・岩田勝雄・瀬戸岡紘編 A5判・2600円

### 日本経済の選択 企業のあり方を問う

森岡孝二著 46判・2400円

### 21世紀の経済社会を構想する 政治経済学の視点から

森岡孝二・杉浦克己・八木紀一郎編 46判・2200円

### ポスト工業経済の社会的基礎

市場・福祉国家・家族の政治経済学  
 エスピノーアンデルセン著/渡辺雅男・景子訳 A5判・4000円

### 福祉国家の可能性 改革の戦略と理論的基礎

エスピノーアンデルセン著/渡辺雅男・景子訳 A5判・2500円

### トヨタの労働現場 ダイナミズムとコンテクスト

伊原亮司著 46判・2800円

### 図解 社会経済学 資本主義とはどのような社会システムか

大谷禎之介著 A5判・3000円

### 価値の理論

和田 豊著 A5判・4500円

### 戦後の日本資本主義

長島誠一著 A5判・3000円

### 日本経済の構造改革

佐藤真人・中谷 武・菊本義治・北野正一著 A5判・2500円

### 分権社会の政策と財政 地域の世紀へ

重森 暁著 A5判・2800円

### スウェーデンにみる個性重視社会

生活のセーフティネット  
 二文字理明・伊藤正純編著 46判・2500円

### 総説 現代社会政策

成瀬龍夫著 A5判・2600円

### 現代の労働と福祉文化

青木圭介著 A5判・2600円